

2024年1月24日

製造業向け大型金属 3D プリンター AMCM M 8K を 2024 年内に販売開始

—カスタマイズが可能な世界最大クラスの 3D プリンター—

株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ

株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズは、製造業向けの大型金属 3D プリンターである AMCM M 8K を 2024 年内に販売開始します。近年高まる大型部品製造への需要およびハードウェア・ソフトウェアのカスタマイズ需要に対応したモデルであり、生産性の向上による開発リードタイムの短縮や生産コストの削減を実現します。

AMCM M 8K は、世界最大クラスである 800×800×1,200mm サイズの部品の造形を可能とするだけでなく、1kW レーザーを 8 本搭載することで造形時間を短縮し生産性を劇的に向上させます。また、顧客ごとの用途に適した造形可能サイズや光学系を自由に組み合わせることが可能となっており、ニーズに合わせたカスタマイズ装置を活用することでユーザーは市場での競争力を高められます。

【背景】

Additive Manufacturing ^{注1}(以降、AM)技術は、複雑形状や複数部品の一体化製造を可能とするため、性能の向上や開発リードタイムの短縮、生産コストの削減などを実現します。近年、AM 領域ではより大きな部品の造形を可能にしたいという需要が急激に高まっており、AMCM 社^{注2}製の金属 3D プリンター(金属積層造形機)である AMCM M 8K を 2024 年内に販売開始します。

【特徴】

AMCM 社は L-PBF ^{注3}のパイオニアである EOS 社のグループ会社であり、EOS 社製 3D プリンターをベースとした特注機の開発・製造・販売を専門としています。そのため、AMCM M 8K では EOS グループの最新技術である SmartFusion ^{注4}や EOSTATE Exposure OT ^{注5}などを統合し、工程内品質保証や工程監視技術も向上させています。

■AMCM M 8K スペック

造形可能領域(xyz):	800×800×1,200mm (オプションにて 1,000×1,000×1,600mm も可能)
レーザー種類	: Yb-fiber laser, nLIGHT laser 他
レーザー出力	: 400W, 1kW, 1.2kW 他
レーザー本数	: 8 本

※製品の仕様は予告なく変更になる場合がございます。ご了承下さい。

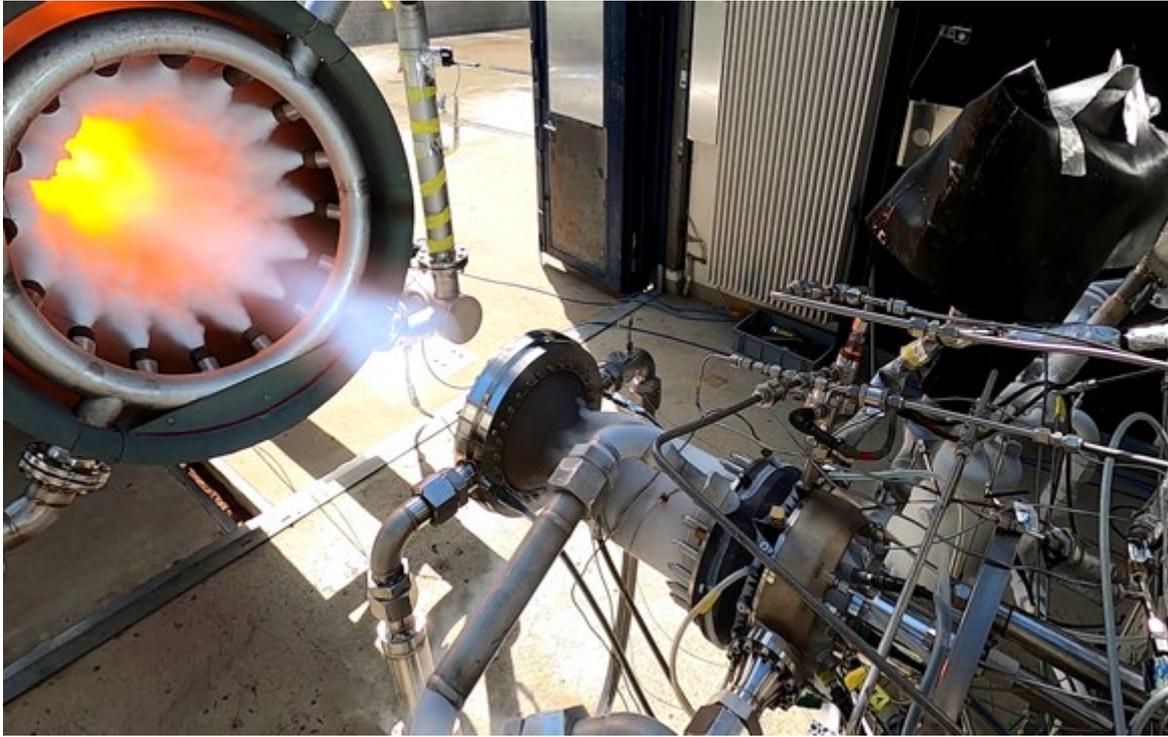


図 1. エアバスとサフランの合弁会社であるアリアングループは、AMCM 社の金属 3D プリンターで製造したロケットの燃焼室の試験を成功させました。(Source: AMCM/ Ariane Group)

【今後について】

販売開始に先立ち、2024 年 1 月 31 日～2 月 2 日の日程で開催される 3D プリンティング・AM 技術の総合展 TCT Japan2024^{注6}に出展し、AMCM M 8K のデモパーツの展示を行います。2 月 1 日には AMCM 社による講演も行います。EOS グループの AM 技術を日本のモノづくり市場に広く届けることで、最先端なモノづくりを推進して参ります。

(注1) Additive Manufacturing: 材料となる金属および樹脂粉末を薄く敷き詰め、レーザー照射で熔融するプロセスを繰り返すことで 3 次元の物体を製造する 3D プリンティング技術のこと。

(注2) AMCM 社 HP: <https://amcm.com/>

(注3) L-PBF: Laser Powder Bed Fusion の略称。レーザー粉末床熔融結合法と呼ばれ、産業用 3D プリンターで最も一般的な方式です。

(注4) SmartFusion: L-PBF 方式で必要となる、部品を支える土台となる構造を不要とする技術のこと。

(注5) EOSTATE Exposure OT: 光トモグラフィのこと。造形中のレーザー照射の様子をモニタリングし品質保証に活用する。

(注6) TCT Japan2024: <https://www.tctjapan.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

<p>■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社 NTT データ ザムテクノロジーズ 経営戦略統括部 コーポレート部 Tel:03-6433-0577</p>	<p>■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ 営業統括部 マーケティング部 鈴木 里英子 Tel:072-789-9155</p>
--	---